



2018(平成30)年7月号

阿弥陀経

毎日雨が続いて、梅雨らしくなってきたかと思えば、晴れて猛暑が続くようになりました。急激な気候の変化に体調を崩さぬよう、お気を付けください。

また先日、大阪北部において震度6の地震が起こり、5人の方がお亡くなりになりました。首都圏においても、いつ災害が起こるか予測できませんので、防災に対する備えをしておかなくてははいけませんね。

さて今月は、『仏説阿弥陀経』について味わわせていただきます。『仏説阿弥陀経』は、『仏説無量寿経』・『仏説観無量寿経』の3部の経典を合わせて「浄土三部経」と言われ、それぞれ『大経』・『観経』・『小経』と略称されます。『大経』・『観経』は、大変長いのですが、『阿弥陀経』は比較的短いお経です。お寺で、年回法要などご法事の際、『阿弥陀経』をお勤めすることが多いので、馴染みがある方もおられるでしょう。

『阿弥陀経』は、祇園精舎（ぎおんしようじゃ）において、お釈迦さまが弟子の舍利弗（しゃりほつ）尊者に対して説かれたお経です。ですから、『阿弥陀経』の中には実に38回も「舍利弗」という言葉が出てきます。お経本をお持ちの方は、是非数えてみてください。

舍利弗尊者は、お釈迦さまの十大弟子の一人で智慧第一と言われている。バラモンの子として生まれ、一時はバラモン教の一人・サンジャヤに師事しました。しかし、お釈迦さまとの出会いによって親友の目連尊者と共に、お釈迦さまの弟子となり、仏教に帰依されたのです。

お釈迦さまのご説法を聞かれていたのは、舍利弗尊者をはじめ1250人という多くの仏弟子でした。中でも、特に優れた舍利弗尊者に対して、お釈迦さまは何度も「舍利弗よ、舍利弗よ」と語りかけておられます。そして、お釈迦さまが入滅された後、弟子方がご説法の記憶を頼りに経典とし、中国で翻訳されて日本へと伝わってきたのです。

『阿弥陀経』は、西の方に極楽浄土があり、阿弥陀と名乗られる仏さまがおられました。そして、人びとを迷いの海から救い出されていると説かれ、お浄土の美しい莊嚴やそこにいる人びとの尊い姿が示されています。そして、全ての人が南無阿弥陀仏の名号のお心を仰ぎ喜んで、浄土に生まれたいと願うよう勧められます。さらに、六方世界の諸仏もこの尊い教えをほめ讃えられるという内容です。

私が子どもの頃、実家のお寺でもお盆やお彼岸・家族の命日など、節目の仏事には『阿弥陀経』をお勤めしていました。お経本には全てふりがなが振ってあるので、ゆつくり読めばついていけるのですが、読み慣れている父親がどんどんスピードを上げるものから、途中からついていけなくなつた、という苦い経験があります。

最後に親鸞聖人は『阿弥陀経』の心について、表面では自力念仏を勧められていますが、本当の意味は南無阿弥陀仏のいわれを聞きひらき、お念仏すること（他力念仏）を明らかにされたのです。

仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. お仏飯はなぜお供えする？

A. いのちの恵みをよろこぶ

法事でお参りしますと、たまに、何種類もの果物やお菓子、お酒など「占領」されているお仏壇に出合うことがあります。また、ごていねいなことに位牌（浄土真宗では用いない）の前にも同様の食物やお茶、お水が置かれていたりします。

そんな場合、必ずと言ってよいほど、肝心のローソク立てや香炉、花瓶のけ者にされ、経卓の上などに載せられていたりするものです。お供えはなにもたくさんすればよいというものではありません。それよりもお仏壇の中は秩序よく、調和のとれたお飾りにすることの方が大切です。

お仏飯は、他の供物とは別に、特に大事にされている物で、毎朝ご飯が炊

ければ一番にお供えすることになっています。仏飯器と呼ばれる専用の器に蓮のつぼみ形に盛り、ご本尊前の上卓、あるいは仏飯台に置きます。もし、両お脇掛が御影像なら、その前にもお供えすることがありますが、過去帳や位牌の前には供えません。

朝、お供えしたお仏飯は、午前中に下げるようになっていますが、最近パン食も増え、必ずしも朝ご飯を炊くとは限らなくなりました。そんな場合、朝でなくても、ご飯を炊いたときに、真っ先にお仏飯としてお供えするよう心がけてください。

また、法事の時など、他の供物はあるのに、お仏飯が供えられていない場合があります。せっかくの法事ですから、ご飯を炊いてお供えしていただきたいものです。



『新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

帰敬式（おかみそり）募集

浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮らしを送ることを誓う大切な儀式です。帰敬式を受式し、仏弟子となられた方には、法名が授与されます。当会館では、11月の築地本願寺参拝に合わせ、帰敬式を受式される方を募集いたします。

※ご希望の方は、お早めに当会館までお申込みください。

平成30年の年回表 （ご法要のお申し込みをお忘れなく）

平成30年 年回表	
1周忌	平成29年
3回忌	平成28年
7回忌	平成24年
13回忌	平成18年
17回忌	平成14年
23回忌	平成8年
25回忌	平成6年
27回忌	平成4年
33回忌	昭和61年
50回忌	昭和44年

6月行事の様子

★降誕会・奉讃会総会 6月3日(日) 13時～17時30分

親鸞聖人のご誕生をお祝いする降誕会には、40名の方がお参りされました。その後、奉讃会総会・懇親会を行い、皆さまと親睦を深めました。

法要前の様子



当日は、素晴らしい陽気で、良い法要日和となりました。

法要「正信念仏偈作法」



挨拶 酒井主任



福井学誠師



奉讃会総会



懇親会



★第1回キッズサンガ子ども会 6月23日(土) 10時～12時

当日は、8名の元気なキッズが参加してくれました。せっけんデコパージュ体験としてオリジナルせっけん作成、シャボン玉遊びなどで楽しみました。

仏さまのお話



工作開始!



シャボン玉遊び



みんなで記念撮影



素敵なオリジナルせっけんが完成しました!

東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

▶7月の行事予定

常例法座

7月8日(日) 午後1時～

ご講師 柏倉 学法師
(千葉県真宗寺)
どうぞ、お気軽にお参りください。



親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

7月16日(月) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

キッズサンガー泊サマースクール

7月28日(土)～29日(日)

お寺でたくさんの友達と泊まり、ひと夏の思い出作りにサマースクールを開催します。
元気なキッズの参加をお待ちしております。
小中学生対象となります。

▶8月の行事予定

盂蘭盆会・永代経法要 納涼懇親会

8月12日(日) 午後1時～

ご講師 松本 智量師
(東京都延立寺)



お盆のご法要です。法要終了後の納涼会にも、是非ご参加ください。

東久留米会館会報 「ともしび」
第267号
発行日 2018年7月1日
発行者 安邊 泰教
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話 042-474-6787

編集後記

最近、長女の学校の友達がよく遊びにきます。事務所の隣でワイワイ騒ぐので、仕事にならないこともしばしば。しかし、お寺に子ども達の賑やかな声がするのは、良いものだと思います。(安)

お盆参りのご案内

7・8月は、お盆になります。ご自宅やお墓、お寺でお盆参りをご希望の方は、当会館までご連絡ください。(各月それぞれ中旬がお盆の時期になります。)

今月のお仏飯米のご進納

小川 幸子様 上村 芳子様
岸田 禮子様
ありがとうございました。